

令和4年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	16
事業名	空家等対策経費	会計	款	項	目
		一般	8	5	1
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	建設課		
施策	9-1 良好な居住環境の形成	係名	都市計画係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内の空家	目的 (対象がどのような状態になっているか)	空家の適正な管理が行われ、また空家利用希望者が利活用できていく状態
事業内容	東員町空家等対策計画に基づき、実態把握(定期的な空家等調査・所有者等への意向調査)、発生抑制・適正管理(所有者等への啓発、適正管理の促し)、利活用(空き家・空き地情報バンク制度の充実)を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)	
	1	空き家の活用数	0	0		件		2	
2									
3									
4									
5									
			令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)				
全体事業費(千円) A+B				5,989	8,162		4,268		
財源内訳	直接事業費 A			1,831	5,390		1,496		
	うち一般財源			940	4,721		521		
人件費(千円) B				4,158	2,772		2,772		
内訳	一般職員(人・千円)			0.63	4158	0.42	2772	0.42	2772
	臨時職員(人・千円)			0	0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	空家等に関する対策を総合的かつ計画的に推進していくために、平成28年3月に策定した東員町空家等対策計画を改訂する。	③取組の課題	空家等対策計画に基づき、空家対策を進めていかなければならない。新たな空家の発生を抑える取り組みが重要である。
②R4年度に実施した取り組み	空家等対策協議会を2回開催し、空家対策について協議し、東員町空家等対策計画を改訂した。	④今後の改善計画	空家対策を効果的に進めるためには、町民、地域、NPO等の団体、行政が連携することが重要であり、具体的な方法を検討する必要がある。